

組合員数103,622人
支部数 943
読者数 64,933人
(7月月報)
(連絡先) ☎03(5978)2751 FAX03(5978)2777
E-mail/honbu@nenkinsha-u.org
ホームページ/年金者組合と入力し検索して下さい。

年金者しんぶん

第405号 2023年9月15日(金)
(通巻第604号)
全日本年金者組合中央本部
〒170-0005東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
発行人 杉澤 隆宣 月刊1部100円(組合費を含む)
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

うらやましすぎる フランスの 年金制度

高齢女性に連帯手当や住宅手当

子育て母親には 保険期間の積み増しも



年金改悪に先頭に立ってたたかうフランスの女性たち

支給年齢を62歳から64歳に引き上げる年金制度改悪に反対するフランスのデモ、ストライキが大きく報道されました。デモ参加者は「年金改革が必要だ」というのなら、まず大企業と雇主に課税すべきだ」、「労働から引退後楽しめる

短時間就労でも 3カ月で受給権
労働者年金加入 生じる基礎年金

フランスでは労働者は 被保険者・受給者が最も正規か非正規かを問わず も多い労働者年金制度は、短時間就労でも、必ず基礎年金と同じく(労使が労働者年金制度に加入する。業績主義によって不利益を被る人々への様々な措置を持っており、現役時代の職業・職種に関係なく、すべての高齢者には生活保護基準を上回る最低限の所得が保障されている。

正規・非正規を問わず 生活保護上回る所得保障

の強制保険の補足年金の2階建て制度で、基礎年金はわずか3カ月の拠出で受給権が生じる。最も高い賃金の時期の25年間での平均賃金の50%を

人生があるべきだ」、「ストライキは権利のためだから仕方がない」と語っています。年金者組合は女性・母親を差別・軽視しないフランスの年金制度・施策を参考に、政府と国民に政策提言していく準備を進めています。

保障する満額年金と言つ制度もある。

出産・子育てに
みなし保険期間
職業において不利を被

育児退職の親に
保険料代替拠出

出産あるいは子育てによって、仕事を辞めたり短時間雇用に変更したりしている親には、社会保障組織の家族手当金庫による保険料の代替拠出もある。3人以上の子どもを育てた親は、年金受給額も10%増しになる。

出産と子育てに対する「みなし保険期間」は、子どもを一人出産するごとに3カ月の拠出期間が加算される出産加算(死産、養子の受入の場合も限所得に満たない所得の

年金少額するとき
高齢者連帯手当
拠出制年金額が少なく、国の定める老齢最低限所得に満たない所得の

それに引きかえ日本では

住宅追い出され

行き場失う高齢女性

70歳未婚のシングル女性は45000円、生活保護受給は考えず、預金を取り崩す生活です。

2年前突然家主から「アパートの老朽化で年内の立退き」を迫られました。年金月9万円、家賃

は45000円、生活保護受給は考えず、預金を取り崩す生活です。立退きの正当事由がないことから立退き拒否しました。その後アパート

場合は、その額まで高齢者連帯手当で補足する。(10万7000円)で、これはフランスの生活保護基準の1.5倍に相当する。これに社会保障の住宅手当や医療費の無料化、交通費の補助などが加わる。

2019年の高齢者連

帯手当は8688・2€

家賃補助制度の創設や 男女同一賃金の実現を

日本においては女性、とりわけシングル女性の住まいの問題は深刻です。全国借地借家人組合の綾達子事務局長は「住居確保給付金など恒久的家賃補助制度の創設」の施策と共に、貧困を生み出している非正規労働者の正規雇用への転換、男女同一賃金、女性の地位向上、公営住居入居の保障人撤廃などを強調します。

シングル女性に 深刻な住宅問題



低年金に苦しむ女性は数多い

審査落ちの理由は、年金のみの収入で受給額が低いこと。親族がいないため緊急連絡先も、連帯保証人、身元引受人(孤独死を理由)もないことなど。公営住宅を申し込んだが待機者が多く入居が困難。建替え予定のアパートへの入居を条件に話し合っています。

が売却され、弁護士を通じて「立退き料を出すので退去」と要求された。転居を考え探したが、どこも保証会社の審査が入り断られた。

風雪

▼布川事件の桜井昌司さんにインタビューしたの10年前のことだった。無実とはいえ強盗殺人犯として29年も服役していたのだから、怖そうな人かなど緊張したが、愛想のいい人だった。

▼「共犯」の杉山卓男さんも無罪だったのだが、名うてのワルだったから「杉山がやった事件の片棒に間違った」のだと長い間思い込んでいた。「地元の人たちはやっぱりアイツらかと納得しただろうね」の話に思わず笑ってしまった。

▼そんな桜井さんが声を荒げてなじったのは、嘘の自由で追い込んだ警察ではなく、裁判官だった。「裁判では検察、被告両方の言い分、証拠を調べて判断してくれると信じていたのに、検察の言うがままだった」。

▼日本の刑事裁判の有罪率は99・8%。「お役人」仲間と人事交流もある検察官のいう線での判決を下す裁判官は多い。「人権」を死語にしないため、司法にも監視の目を。